

BALL KIT: Photo by Akihiro Yoshida  
GOAL KIT: Photo by Masahiro Ohgami

Contact

## お問い合わせ

現在、電話でのお問い合わせは受け付けておりません。

お手数おかけいたしますが、右記参照の上、

メールなどにてお問い合わせいただきますようお願い申し上げます。

01

Join



参加について

02

Press

03  
Other



報道関係のお問い合わせ

下記、ページをご確認ください。

myfootballkit@molten.co.jp (担当:内田、中森)

下記、当社 Website よりお問い合わせください。

<https://www.molten.co.jp/corporate/jp/contact/>



MY FOOTBALL KIT



すべての子供たちの成長のきっかけに貢献する、  
組み立て式サッカーボールとゴール「マイ フットボールキット」

※現時点では一般販売の予定はありません。

# Story

ストーリー

## すべての子供たちに 教育とスポーツを届けよう

MY FOOTBALL KIT は、SDGs に対し、世界中の企業がどのように貢献することができるか考えるところからスタートしたプログラムです。試行錯誤の中で、私達が培ってきた競技用ボールの製造技術や、各国のフットボールに関わるネットワークが、目標の一部として掲げられている「質の高い教育」と「つくる責任・使う責任」の 2 点に貢献することで、世界中の子供たちの成長のきっかけの体験格差を減らすことに繋がると考えています。



## About the Program

### プログラム概要

MY FOOTBALL KIT は、企業、団体がすべての子供たちへ組み立て式サッカーボールとゴールを送ることで、子供たちの体験格差を減らし、SDGs の目標である「質の高い教育」と「つくる責任・使う責任」に貢献するプログラムです。子供たちがフットボールを通じて学習やスポーツの魅力を体感することを目的としてつくれました。つくり、遊び、なおす。持続可能な教育の仕組みが子供たちの豊かな思考をつかっていきます。

### SDGs GOAL 4

Quality Education

### 目標 4 【質の高い教育をみんなに】

ターゲット 4・1

2030 年までに、全ての子供が男女の区別なく、適切かつ効果的な学習成果をもたらす、無償かつ公正で質の高い初等教育及び中等教育を修了できるようにする。

### SDGs GOAL 12

Responsible Consumption and Production

### 目標 12 【つくる責任・つかう責任】

ターゲット 12・5

2030 年までに、廃棄物の発生防止、削減、再生利用及び再利用により、廃棄物の発生を大幅に削減する。

# Product

製品情報

BALL KIT



## 組み立てやすい設計

子供たち、また色弱の方々も組み立てやすいように各パーツに「○＼／」などの記号が入っています。また、再生紙を使用した説明書は、世界中の子供たちが使用できるように、文字を使わず、わかりやすいイラストで表現した絵本のようなデザインに描かれており、直感的に組み立てやすくなっています。



## 環境に配慮した素材 / パッケージ

構成パーツは、再生ポリプロピレンとオレフィン系エラストマーの合成樹脂でできています。2030年までに、廃棄物の発生防止、削減、再生利用及び再利用により、廃棄物の発生を大幅に削減することを目標としています。また、持ち運び用のボールバッグとしても使える梱包時の袋の素材は、地球温暖化対策として焼却時に有害物質を発生しない不織布を採用しています。



## エアレス構造

3種類の部品合計54個を組み立てる事でサッカーボールが完成します。空気を入れるのではなく、表面素材の反発力を利用するので、エア漏れの心配がありません。また、破損した場合には、壊れたパーツを取り替えれば、元どおりに戻ります。わずかな不具合によってボールを破棄しなくて済む経済性と、パーツの簡易な取替えシステムによるメンテナンス性を向上させています。



## カラーバリエーション

豊富なカラーバリエーションを用意しておりブランドカラーに応じた配色の展開も可能です。また、オリジナルのロゴ印刷も可能です。

品名 BALL KIT 品番 F4M2030 サイズ 4号球 材質 エラストマー、再生PP(ポリプロピレン) 70%以上

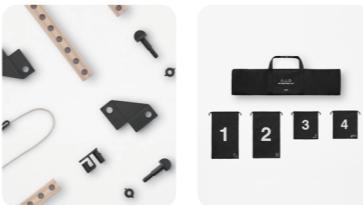
部品 スタビライザー12枚 パネル12枚 プレート30枚 その他 説明書(再生紙) パッケージ バッグ(素材:不織布) 生産国 日本 CE

GOAL KIT



## 何度も自由に組みなおせる設計

作り方の全てを教えるのではなくヒントを与えて子供たち自身で考えます。通常のゴールの形だけではなく自由に自分だけのゴールを組み立てる事が可能です。縦長なゴールや上から入れるゴール、自分の考えや仲間の意見を聞きながらみんなでフットボールをキットします。



## 環境に配慮した素材 / 収納袋

構成パーツは、再生ポリプロピレンとオレフィン系エラストマーの合成樹脂でできています。木材にはCO<sub>2</sub>吸収に寄与するカーボンポジティブなアセチル化木材を使用しています。2030年までに、廃棄物の発生防止、削減、再生利用及び再利用により、廃棄物の発生を大幅に削減することを目標としています。また、収納バックとパーツ袋には再生PET繊維を採用しています。



## 創造力を自由に羽ばたかせて「新しい遊びをつくる」

GOAL KITをみんなで作ると、それぞれがキットしたいゴールを意見し合うことで自然にコミュニケーションが生まれます。自ら意見を発信し、相手の意見を聞く、その過程を繰り返すことで持ち寄ったアイディアがだんだんと一つの形となります。意見がまとまればみんなで協力して自分たちだけのゴールをキットします。さあ、世界に一つだけのゴールをみんなでキットしよう！

品名 GOAL KIT 品番 VF0300-MY 材質 木材：アセチル化木材、各種パーツ：再生PP(ポリプロピレン) 70%以上

部品 木材（長）8本 木材（短）4本 コーナージョイント16個 ポルト&ナット32本 フック92個 ロープ34本

その他 組み立て用紙 パッケージ バッグ・収納袋（素材：再生PET繊維） 生産国 日本 CE

# How to join the Program

## 参加の流れ

お問い合わせ頂きました方へ、弊社担当者よりご連絡を致します。

寄付を行う方（協賛団体）がすべての子供たちへのようにお届け出来るか（場所・時期・数量）を打ち合わせ致します。寄付をうける方（支援団体）をご紹介しパートナーとなって頂きます。

寄付を行う方（協賛団体）へ、実際に現地で行われた活動をまとめたレポートを提出致します。

※現時点では一般販売の予定はありません。

### 01 お問い合わせ

右記のメール、またはフォームから  
お問い合わせをお願い致します。



myfootballkit@molten.co.jp (担当:内田、中森)  
<https://myfootballkit.jp/join/>

### 02 支援団体の マッチング

molten より貴社のご要望に沿った  
支援団体を提案致します。

### 03 支援の実施

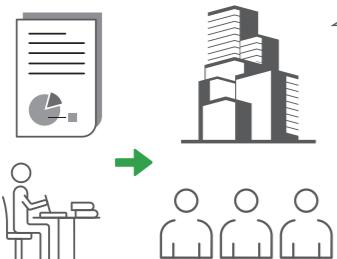
ボールやゴールを支援団体に送付し、  
支援を実施致します。

### 04 レポートの提供

支援団体より、ボールやゴールの使用状況などを  
含めた結果についてレポートを提出致します。

## Reporting

### レポートについて



寄付頂くお返しに支援団体がレポートを作成  
レポートにて協賛団体の社会貢献活動をサポート

- ・支援団体がレポートを作成。
- ・画像や動画・子供達へのアンケートなどを実施。
- ・掲載の許可を取り、協賛団体がWebsiteやSNSで社会貢献活動をPR可能。



## Case study 過去実績



### Japan Report December 2021

第101回 天皇杯 JFA 全日本サッカー選手権大会決勝で、障がいを持つ子供たちを招待し、BALL KIT の組み立てイベントを開催した様子。



### Cambodia Report December 2021

カンボジアのバッタンバン州にあるサッカーコートでのイベントの様子。BALL KIT を真剣な眼差しで組み立てます。

## Interview インタビュー



### 高濱 正伸



1959年熊本県人吉市生まれ。  
東京大学農学部卒、同大学院農学系研究科修士課程修了。  
1993年「花まる学習会」を設立、会員数は23年目で20,000人を超す。  
ニュース共有サービス「NewsPicks」のプロピッカー／  
日本棋院理事／算数オリンピック作問委員／  
「情熱大陸」などTV出演多数

### BALL KITについて

このボールには未来がある。誰でもどこでも作れる。空気入れがないので途上国支援に向いている。など、すぐに浮かぶのだが、教育の現場に立ち続ける者として一言書きたい。数学の実力を計算力とイコールだと勘違いすると、痛い目に遭う。まずは、小学校の文章題で大きな壁に当たり、問題文を読み切れない我が子に不安になったり苛立ったりする母親が続出する。それは仕事のように詰めて読み切る精読力という重要な力をつけていたことが問題なのだ。

しかし、そんな壁はまだ実は可愛い。本当の算数・数学の壁は、「緻密な論理思考についていけない」「图形問題の補助線が浮かばない」「問題作成者の意図を読み取れない」など、いくつかの深刻な実力の不足によって、決定的な壁に当たる。そんな中でも、「立体の感覚」は、差がつく能力、かつ大きくなってからでは伸びにくい能力として、私はとらえている。中学入試から大学入試まで、難関校には立体問題はつきもので、それは「差がつく」から出題されているといってもよいだろう。

私は、たった3種類の平面パーツから、これだけ立派な球体が出来上がることに感動した。数学を指導するものとして。「これは、子どもの立体の能力、ひいては数学の差がつく力を、大いに伸ばすものだぞ」と。何より、子どもには、遊びとしてしか感じられないことが素晴らしいし、デザインもおしゃれで可愛いし、作り上げたらどこでも遊べる。どれだけ可能性に満ちているだろうと感じた。

### GOAL KITについて

GOAL KITは、考える能力を伸ばす、新しいキットである。何と言っても、目指すべき形が一つではない。それどころか自由なのだ。大きなゴールを作っても小さいゴールを作ってもよい。大きな異なるゴールを対で作ってルールを工夫しても面白いだろう。プラモデルやジグソーパズルに代表される「ゴールが一つ」「完成」を目指す遊びは、意味がないかというと、そんなことはない。設計図を読み取る空間認識力や「このピースはここ以外はありえない」と論理的に考える力、最後までやりとげる緻密な集中力など、モノを作る行為は全般に、楽しい遊び感覚の中で何かの能力を伸ばすと言っても過言ではない。

GOAL KITは、その価値に加えて、無制限な自由度を加味したことが革新的なのである。正確さ、粘り強さ、やり遂げる集中力に加えて、柔軟性、自由に思い描く力・創造力を伸ばす GOAL KITは、プラモデルの価値にさらに粘土遊びや砂遊びの意義を合体させた、新時代の遊びであり学びの機会と言えるであろう。

花まる学習会代表 高濱正伸